

月刊フットマーク



2026年1月30日(金) 第84号

月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しに役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。



いそべのりふみ
今期より代表取締役社長に就任いたしました磯部徳史です。

創業80年という節目を迎える本年、長年にわたり当社を支えてくださったお取引先の皆様をはじめ、関係するすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

私たちを取り巻く社会環境は、人口減少や気候変動、物価高騰など、大きな変化の只中にあります。こうした時代だからこそ、私たちは、現場での気づきや日々の積み重ねを起点とした、お客様一人ひとりの声を大切に聞き、カタチにしていく「1/1（いちぶんのいち）の視点」を大切にし、価値ある商品づくりに取り組んでまいります。新素材の探求や、これまでにない発想から生み出す商品開発に挑戦し、既存の枠にとらわれない価値を創造してまいります。

戦後、赤ちゃんのおむつカバーからはじまり、水泳用品、介護用品へと事業を広げてきた当社の歩みは、時代ごとの課題やお客様の声に向き合いながら進化を続けてきた歴史そのものです。

先人たちが築いてきたものづくりへの想いと、現場で培われた知恵を大切に受け継ぎながら、すべての世代にうきうき・わくわくする商品を届けることが、私たちの使命です。

子育て支援や安全・安心なスクールライフ、近年の気候変動を背景とした熱中症対策、健康増進、介護の快適化など、暮らしのさまざまな課題に向き合い、安心と快適さを支える価値を提供してまいります。

これからもお客様の声を迅速にカタチにし、社員一丸となって挑戦し続けることで、社会に貢献してまいります。

皆様とともに歩みを進めながら、次の時代へつながる価値を創造していきたいと考えています。

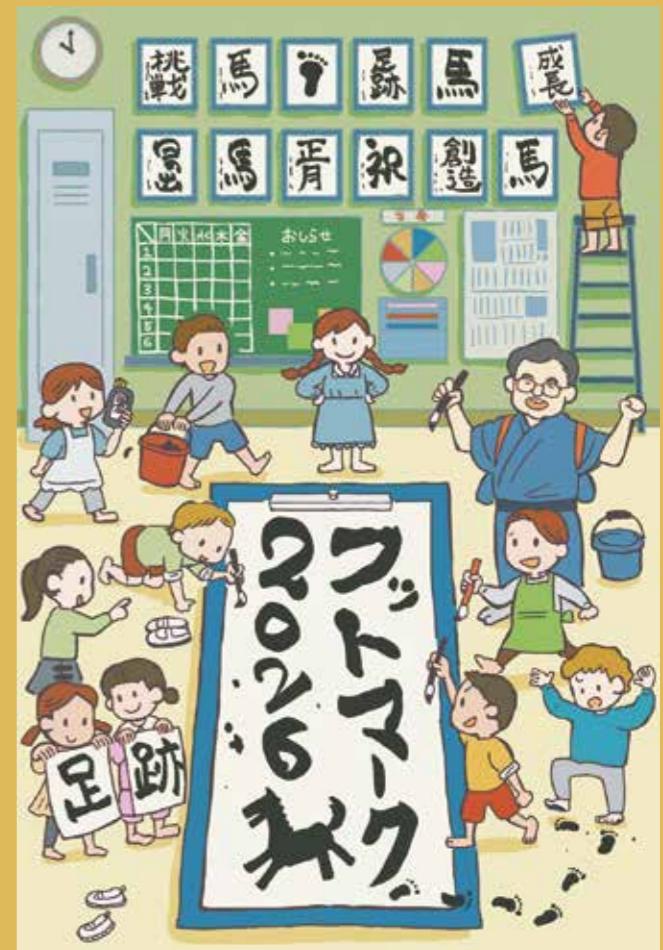
今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長 磯部 徳史

まちがいさがし

間違いが10個隠されています。さてどこに？



※答えは下にあります。イラスト／長縄キヌエ

2026年は午年

今年の干支は「丙午(ひのえ・うま)」です。

干支というと「午(うま)」だけを思い浮かべがちですが、実は「丙」という要素も組み合わさっています。

「丙」は火を表し、明るさや前向きなエネルギーを意味するといわれています。

そのため丙午の年は、活気があり、物事が動きやすい年ともいわれています。

思い切って一步踏み出したり、新しいことに挑戦したりするのにも向いているそうです。

60年に一度巡ってくる丙午。

今年は、日々の中でちょっとした変化や前向きなチャレンジを楽しんでみるのもよいかもしれません。



編集後記

今年は午年ということで「馬」にゆかりのある神社に初詣に行きました。あまりSNSなどでも話題にあがっていない場所でしたが、やはりみんな考えることは同じ。1時間ほど待ちようやく参拝ができました。馬の勢いに乗り何か挑戦したい気分です。とはいって健康第一で過ごせることが一番の願いです。最後に、今年もぜひ月刊フットマークをお楽しみいただければと思います。より良い紙面づくりに精進してまいります。

フットマーク株式会社

東京都墨田区緑2-7-12

広報部

webmaster@footmark.co.jp



新入社員が4名入社



通学カバン「ONELOOK」が
キッズデザイン賞を受賞！



月2回くらいのペースで
コミュニケーションプロジェクト主催で開催中。
普段関わりが少ない人との接点の場にもなっています。

コミュニケーションを活発に
社内でお茶会を開催！



社長交代・80期を迎える

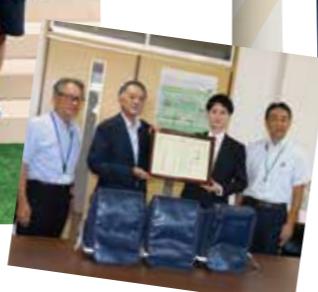
おかげさまでフットマークは8/21より80年目に突入しました。また五代目社長として磯部徳史が就任。創業以来大切にしてきた「お客様の声」に一層耳を傾け、商品や体験を提供してまいります。本紙一面もぜひご覧ください。

フットマーク Hotニュース 2025



三自治体へ「ラクサックジュニア」を寄贈

創業80周年記念事業の一環として、地域社会への貢献活動を目的に、布製ランダセル「ラクサックジュニア」と寄付金を3つの自治体（福岡県岡垣町、宮崎県木城町、愛知県高浜市）へ寄贈しました。今後も地域社会と連携し、より一層持続可能な社会づくりに尽力してまいります。



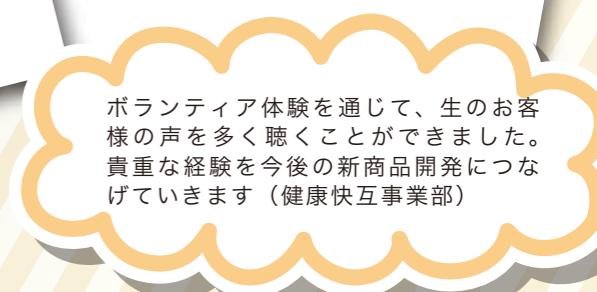
猛暑対策商品が2026年夏に発売！
詳細は近日中に公開予定



となりの敷地で
マンション建設工事がはじまる



健康快互事業部が
介護施設でボランティア活動を実施



ボランティア体験を通じて、生のお客様の声を多く聞くことができました。貴重な経験を今後の新商品開発につなげていきます（健康快互事業部）

声から生まれた
「長持ちする入浴介護エプロン」

